

2026年5月21日



2027年春導入！新型急行用車両3000系 インテリアデザインを決定！

～視界の広がりや通路幅の確保により「開放感」を演出するとともに、明るい色調やあたたかさのある質感・マルチスペースで心地よく利用しやすい車内空間を目指します～

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：久須勇介）では、2027年春に導入する新型急行用車両3000系のインテリアデザインを決定しました。

新型急行用車両3000系のインテリアデザインは、**視界の広がりやゆとりのある通路の確保により、「開放感」を演出するデザインとします。**車内は、明るい色調やあたたかさのある質感とし、**座席色には、エクステリアカラーのRe Vermilionにちなんだ赤系色を採用することで、心地よい車内空間を作ります。**また、**座席指定サービス対象車両を除く各車両には、どなたでもご利用いただけるマルチスペース「いこいこーな」を設置します。**おでかけに“行こ行こ”と誘う親しみやすさと、場所を表す“コーナー”を掛け合わせており、大きな荷物をお持ちの方にもご利用しやすい車内空間づくりに取り組みます。

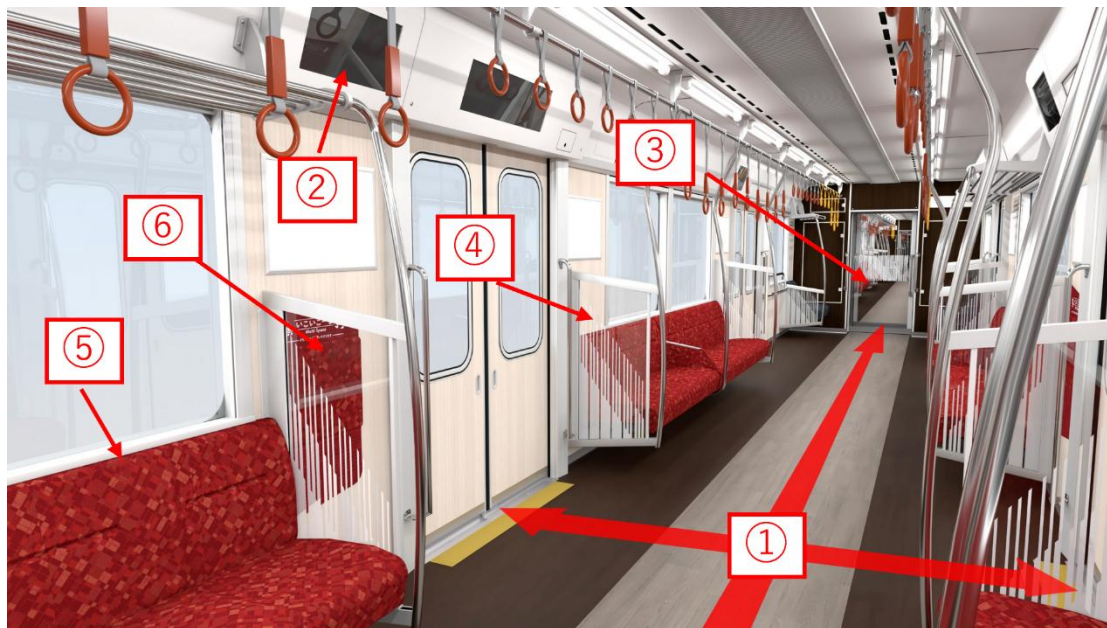
新型急行用車両3000系のインテリアデザインの詳細は次ページ以降のとおりです。



インテリアデザイン（イメージ）

【新型急行用車両3000系のインテリアデザインの詳細】

新型急行用車両3000系のインテリアデザインは、視界の広がりやゆとりのある通路の確保により、「開放感」を演出するデザインとします。また、車内は明るい色調やあたたかさのある質感とし、座席指定サービス対象車両を除く各車両には、どなたでもご利用いただけるマルチスペース「いこいこーな」を設置することで、心地よく利用しやすい車内空間を作ります。



車内イメージ

「開放感」の演出

- ① 車体幅、車体長の拡大
既存車両に比べ、車体幅と車体長を拡大し、ゆとりのある車内空間とします。
- ② 広告表示器の導入
出入口横上部に新たに広告表示器を導入し、画像・映像を用いた広告コンテンツを提供します。さらに、客室上部の視界を広げ、より開放感のある空間にするために中吊り広告を廃止します。
- ③ 連結間の通路幅の拡大
既存車両に比べ、連結間の通路幅を広げます。お客さまが通りやすくなるだけでなく、大型の透明ガラスを採用することで見通しを良くし、開放感を持たせます。
- ④ 座席横の仕切りの透明化
座席横の仕切りを透明ガラスにすることで、視界の抜けを良くし、車両全体の開放感を醸成します。

心地よく利用しやすい車内空間づくり

- ⑤ 座席の仕様
エクステリアカラーの Re Vermilion にちなんだ赤系色のバケットシートを基本とし、5人掛け座席及び7人掛け座席の間には仕切りと握り棒を設置しています。また、座席指定サービス対象車両（6両編成のうち1両）の中央部には、ロングシートとクロスシートに転換可能なL/Cシートを当社で初めて採用します。
※座席指定サービスに関する詳細（運行区間・料金等）は後日発表します。



クロスシート転換時（イメージ）



ロングシート転換時（イメージ）

⑥ 出入口横マルチスペース「いこいこーな」の設置

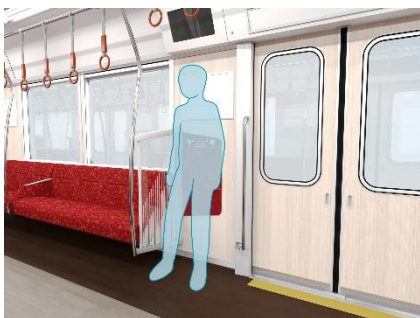
座席指定サービス対象車両を除く各車両に、立ち続ける際の疲労を軽減することができるマルチスペース「いこいこーな」を設置します。



いこいこーな標記



イメージ



軽く寄りかかることで、立ち続ける際の疲労を軽減いただけます。



ベビーカーを置く場所としてご活用いただけます。



スーツケースなどの大きな荷物を置く場所としてご活用いただけます。

「いこいこーな」は、おでかけに“行こ行こ”と誘う親しみやすさと、場所を表す“コーナー”を掛け合わせた名称で、“〇〇行こな（いこーな）”と誘う関西弁のあたたかさを感じるネーミングとしました。

軽く寄りかけられる腰当てを配置し、どなたでもご利用いただけるスペースで、ベビーカーやスーツケースなどの大きな荷物をお持ちの方はもちろん、お客さまが立ち続ける際の疲労を軽減することで、利用しやすく快適な車内空間を提供します。

〔ご参考〕

- ・ 2027年春に新型急行用車両3000系を導入し、座席指定サービスを開始します
～新型車両導入を機に、急行用車両のエクステリアカラーの統一を進めます～

<https://www.hanshin.co.jp/press/detail/004393.html>



新型急行用車両3000系（イメージパース）

阪神グループは、「“たいせつ”がギュッと。」のブランドスローガンの下、これからも一人ひとりのお客様の“たいせつ”と向き合い、グループ一丸となって阪神らしいブランド体験を提供し続けることで、その信頼と期待に応えてまいります。



以 上